

平成28年度第3回資金管理委員会議事録要約

◆ 開催日時 平成29年3月22日（水）13時00分～15時00分

◆ 開催場所 兵庫県庁2号館

◆ 出席者（会長◎）

◎ 甲斐 良隆 関西学院大学大学院経営戦略研究科教授

佐竹 隆幸 関西学院大学大学院経営戦略研究科教授

藤原 賢哉 神戸大学大学院経営学研究科教授

浅野 正義 地方公共団体金融機構地方支援部副部長兼
ファイナンス支援課長

中野 達夫 格付投資情報センター格付本部チーフアナリスト

1 平成28年度資金運用実績・平成29年度資金運用計画について

- 運用実績については、マイナス金利の本格化に伴う影響がみえる。来年度の資金運用は、当該方針に基づいて行われたい。

2 平成28年度県債発行実績・平成29年度県債発行方針について

- 経済に対する見通しは、超低金利環境が継続するという見込みであるものの、世界的にリスクオン姿勢にはなっておらず、様子見している状況であるのが一般的ではないか。
- 住民参加型市場公募債は、県政の動きを知る良い機会であり、シンボリックな意味合いもあるため、今後も発行を続けることが望ましいことから、金利動向に応じて発行を検討されたい。

3 兵庫県及び関連公社等資金運用指針の改正について

- 現在価値や処分を行うための客観的な基準の記載を明確化することにより、日頃から処分を意識付けさせることができる指針となった。

4 指針不適合商品に係る中長期的な管理計画（案）について

- 債券格付けを処分基準とすることは、生命保険会社等においても同様の取扱いとしており、妥当である。
- 信託受益権の処分基準は、利率が下限に達したときでは遅く、金利動向等を観測し、事前に判断できるような仕組みが望ましいため、引き続き検討が必要である。

5 その他（公社等における今後の資金運用のあり方について）

- 公社等の資金運用は、安全性・透明性が高まるなど大きく改善された。一方、運用難であるという時代背景も踏まえ、来年度は、運用対象商品の拡大について検討したい。